

令和8年度愛媛県地域おこし協力隊活動ロードマップ作成研修会開催要領

1. 目的

主に活動2年目以降の地域おこし協力隊を対象に、隊員自身の現状を客観的に見つめ直す機会を提供し、これまでの活動の振り返りと課題の整理を行うことで今後のステップアップを支援する。隊員が地域での定住を見据えた具体的な進路を描くとともに、そのために必要な知識や実務能力を向上させることを目的として開催する。

2. 主催

愛媛県

3. 運営

一般社団法人えひめ暮らしネットワーク（県内地域おこし協力隊経験者団体）

4. 開催

日時：令和8年8月25日（木）10:00～17:15

会場：ふたみ潮風ふれあいの館 1階 研修室（伊予市双海町高岸乙 869-2）

5. 対象者

主に着任2～3年目で今後のステップアップを考えている地域おこし協力隊員

6. 定員

20名

7. 内容

【1日目】

時間	内容
9:30～10:00	開場・受付
10:00～10:05	開会 ・主催者あいさつ（愛媛県地域政策課） ・オリエンテーション
10:05～10:30	【講義】地域おこし協力隊活動と活動ロードマップ作成のポイント 講師：一般社団法人えひめ暮らしネットワーク 参事 本多正彦氏 内容：活動ロードマップ作成の目的や手法の解説
10:30～11:15	【演習①】地域おこし協力隊活動の棚卸し 内容：各グループ（4名～6名）で相談や共有しながら、活動ロードマップを作成する前段として「協力隊着任時にやりたかったこと／これからやってみたいこと」「地域に求められていること／地域の課題」「自治体から求められていること（ミッション）」「自分の現在の活動／今後やってみたい活動」「活動の公的価値（公益性）」を書き出す『棚卸し』に取り組む。

11:15～11:45	【事例紹介】 任期満了を『ゴール』にしない!地域との関係性と自己実現 講師：一般社団法人えひめ暮らしネットワーク 参事 橋田豊代氏 内容：協力隊3年間の活動の中での、地域や行政との関係づくり、どのような活動や姿勢が任期後の自己実現に繋がったのか事例紹介
11:45～12:45	休憩（昼食は各自）
12:45～14:15	【演習②】 これまでの活動ロードマップの作成と現状の整理 内容：協力隊着任時から現在までの活動を洗い出し、俯瞰的な視点から活動を整理する『これまでの活動ロードマップ』と、現時点の成果と課題を書き出す『現状整理』を作成する。
14:15～14:45	【意見交換】 演習①と演習②の成果共有 内容：活動棚卸しやこれまでの活動ロードマップ等を、グループ内で共有して隊員間で意見交換
14:45～14:55	休憩
14:55～16:15	【演習③】 これからの活動ロードマップ作成 内容：1日目に取り組んだ『棚卸し』『これまでの活動ロードマップ』『現状整理』の内容を踏まえ、任期後の目標を定め、その目標を達成するために活動の優先順位を意識しながら、目標からのバックキャストイングをする『これからの活動ロードマップ』を作成する。
16:15～17:00	【意見交換】 成果発表と全体共有 内容：2日間で取り組んだ演習成果を各グループ（1～2名）から発表して全体で共有し、隊員間での質疑応答や講師によるポイント説明や助言等を通して、ロードマップをブラッシュアップする。
17:00～17:15	閉会

8. 講師及び進行

【講師】 本多 正彦 氏（一般社団法人えひめ暮らしネットワーク参事）

東京都出身。2013年4月から2016年3月まで伊予市地域おこし協力隊（双海町翠地区）として活動。双海における移住促進・ふるさと教育・訪問イベント型コミュニティサロン事業等、多様な活動を展開した。任期終了後は、活動地に定住し観光協会へ2年間就業。現在では、映像・印刷物製作や農業など、多業な田舎暮らしを送りながら、伊予市や県での移住支援や協力隊サポートに取組み、伊予市地域教育プロデューサー・伊予市地域学校協働活動推進員としても活躍中。

【講師】 橋田 豊代 氏（一般社団法人えひめ暮らしネットワーク参事）

佐田岬半島の裂き織り工房「をへや」代表。英国生まれ宇和島育ち。伊方町地域おこし協力隊経験者として伝統技法『裂き織り』の継承・活用に取り組み、民泊推進にも携わる。

【進行】 本多正彦氏と橋田豊代氏で交代で進行